

# 家業から脱却し 事業とすべく アドバイスを



**福田 幸博**  
FUKUDA Sachihiko

税理士法人ひだパートナーズ  
(岐阜県飛騨市)

**私**が岐阜県飛騨市で税理士事務所を開業して40年目になります。独立する前に5年弱地元の農協に勤務し、農家の記帳や税務申告を指導していたときから農業者とのかかわりがあります。当時、行政と農協が一丸となって、肉用牛農家の育成に力を注いだ結果、今では「飛騨牛」は、全国的なブランド和牛の地位を確立しました。このときに指導していた農家が、世代を超えて大きく成長している姿を見てうれしく思っています。

また、私が指導する稲作農家に日本中から注目されている方がいます。この方は土木業から米作りを始めましたが、きっかけは、11年前に同業者の社長が米コンクールで金賞を受賞したことでした。その社長に米作りを教えてもらい、一から

始めました。1年目は試行錯誤でしたが、2年目からは米コンクールで賞を取り続けています。特に、「第18回お米日本一コンテスト in しずおか」(2021年)では、特別最高金賞を受賞して、まさに日本一おいしい米

が重要で、毎月経営状況をしっかりと把握するよう指導しています。

私たち会計事務所ができる支援は、毎月の試算表を基にした経営助言や、決算時の業績分析支援ですが、数値面を把握して経営する



©高橋 智裕

と認定されました。現在、社長は娘に譲っていますが、作付けや農作業は若い社員の先頭に立って進め、社員の育成に努めています。私も水管理の自動化について、一緒に試行錯誤しています。

私は常々、農家の皆さんには、「家業から脱却して、事業とすべく取り組まなければならない。そのためには、一生懸命に作るだけではだめで、生産した物にいかにか付加価値を付けて販売するかが重要だ」と説いています。生産技術を磨くだけではなく、原価管理や販売管理

ことは重要です。そのため、業績に基づいたDX化への投資計画に対しても積極的にアドバイスがしやすくなっています。

そのほか、森林面積が93%を占めている飛騨市は、2020年から行政と民間が一緒になって「広葉樹のまちづくり」に取り組んでいます。地元の広葉樹はパルプやチップ材としてしか販売されていなかったので、この豊富な広葉樹の活用方法を考えようとプロジェクトが立ち上がったのです。ここに何かアドバイスできないか思案中です。 **F**

## ふくだ さちひろ

1948年岐阜県生まれ。名古屋税理士会において農業所得の実務研修講師を4年間務めている。趣味は海外の世界遺産巡り。



農業経営アドバイザーは農業経営者のニーズに対応し、経営への総合的的確なアドバイスを実践する専門家です。2005年、農業経営の発展に寄与することを目的に日本公庫が資格制度を創設しました。本コーナーは、上級資格である上級農業経営アドバイザーが執筆しています。